

美術館



刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM

夏休み

美術館で夏休み

いつものミチのびみつきち

2014.7.19 - 8.31

月	火	水	木	金	土	日
<p>いつでもできるプログラム = 申込不要 + 会期中(毎日)開催 + 参加無料</p> <p>「図書がかり」と一緒に、かんたんな「微分帖」(D参照)づくりに挑戦! 10:00-16:00 随時参加 7/24, 31・8/7, 14, 28</p> <p>7/19 OPEN 展覧会 はじまり</p>						
海の日 21	休館日 22	23	24	25	26	27
休館日 28	B 透明迷路(とうめいめいろ) 29	30	31	8/1		A あたらしいわざ 27
4	5	6	7	8	C あっしがわと こっしがわをつくる 9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	D 微分帖(びぶんちょう) 21	E-① くうそう美術館 22	E-② 日用品美術館 23	E-③ らくがき美術館 24
25	26	27	28	29	30	8/31 CLOSE 展覧会おしまい

会期中のワークショップ

A あたらしいわざ **申込 必要**

アニメのヒーローやヒロインになりきって新しい必殺技を考えよう。

講師=山本高之さん
日時=7月27日(日) 14:00-16:00
対象・定員=小学生・20名
参加費=100円
持ち物=剣道・柔道の道着(ない人は動きやすい服装)
申込締切=7月17日(木)必着

B 透明迷路 **申込 必要**

透明なビニールシートをつかって、ゆらゆらゆれる大きな迷路をつくりまわす。

講師=山口百子さん
日時=7月29日(火)
①10:30-12:00 ②13:30-15:00
対象・定員=5、6歳児(未就学児)・①②各20名
参加費=100円
申込締切=7月17日(木)必着

C あっしがわと こっしがわをつくる **申込 必要**

みんなで協力し合って、新聞紙を使った不思議なバリケード=壁をつくりまわす。

講師=中島佑太さん
日時=8月9日(土) 13:00-15:30
対象・定員=5、6歳児(未就学児)・20名
参加費=100円
申込締切=7月29日(火)必着

D 微分帖 **申込 必要**

小さなお話をどんどん増やして、ひとつのヘンテコな物語をつくりまわす!

講師=宮田篤さん
日時=8月21日(木) 10:30-12:00
対象・定員=小学4年生-大人(親子参加可)・20名
参加費=100円
申込締切=8月7日(木)必着

E ひがわり美術館

美術館研修室が新たな展示室に?! 美術館そのものを遊ぶ3つのワークショップを開催します。

講師=フジマツ(近藤令子さん+松村淳子さん)

① くうそう美術館 **申込 必要**

気になるところ=「作品」!? くうそうが「作品」を見つける合い言葉!

日時=8月22日(金) 13:00-15:30
対象・定員=小学生-大人・15名(親子参加可)
参加費=100円
申込締切=8月7日(木)必着

② 日用品美術館 **申込不要 参加無料**

日用品しかない不思議な美術館をつくらう。
日時=8月23日(土) 13:00-15:30 随時自由参加
対象=どなたでも

③ らくがき美術館 **申込不要 参加無料**

いつもの風景に、色や線でらくがきしよう。
日時=8月24日(日) 13:00-15:30 随時自由参加
対象=どなたでも

いつでもできるプログラム = 申込不要 + 会期中(毎日)開催 + 参加無料

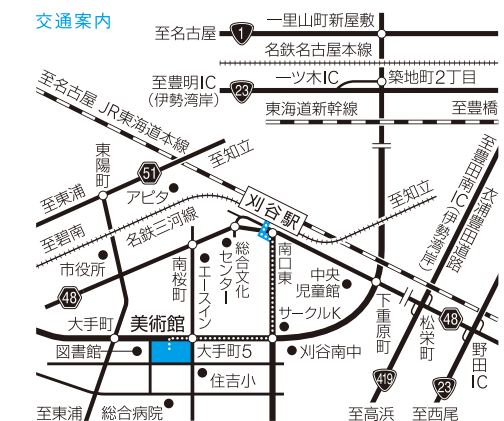
- ★ 宮田篤さんに宿題を出してみよう。出品作品になって戻ってくるかも?!
- ★ 中島佑太さんの毎日かわるヘンテコな《今日のルール》を試してみよう。

A, B, C, D, E-①の申込方法

往復はがきの「往信用裏面」に、ワークショップ名(Bは時間も)、氏名(ふりがな)、学年・年齢、住所・電話番号、保護者名を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を記入してお申込みください。定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。各プログラム1人(組)または1グループ1通まで有効。

往信用【裏面】	返信用【表面】
<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ名(Bは時間も) 氏名(ふりがな) 学年・年齢 住所・電話番号 保護者名 	<ul style="list-style-type: none"> 郵便番号 住所 氏名を記入

申込先 〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館「美術館で夏休み」係



[電車] JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分
*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分
[車] 名古屋方面より: 国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km *無料駐車場あり(60台)

美術館 で 夏休み

2014年7月19日(土) → 8月31日(日)

会場＝刈谷市美術館 1階・特別展示室、第1展示室、ロビー

開館時間＝9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(7月21日は開館)、7月22日(火)

入場無料

主催＝刈谷市美術館

後援＝愛知県教育委員会

いつものミチの
ひみつキチ

キャンプや海水浴など、楽しいことがいっぱいの夏！でも、塾や山のような宿題に追われていつもより大変なことも…。“夏休み”はいつもと違う新しいことに出合えたり、いつもの自分を深めたりする貴重な時間。それは当館でも度々おこなっている“ワークショップ”でのアート体験に似ているかもしれません。そこでこの夏、ワークショップをもとに作品を制作している山本高之、宮田篤、中島佑太の3名のアーティストを紹介し、美術館で“夏休み”のドキドキを体感してもらいたと思います。

「いつものミチのひみつキチ」。ミチは道で、キチは基地？それとも未知と既知かな？知らないことと知ってることって何だろう？本展では、事前のワークショップをもとに制作された各アーティストのユニークな新作の発表のほか、さまざまなワークショップや、いつでも参加できるプログラムを用意しています。大人も子どもも、ぜひ展示会に参加・体験して、いつもの自分を見つめ直したり、ひみつの何かに気付いたりしながら、あなただけの“夏休み”をお楽しみください。

山本高之 (やまもと・たかゆき)

1974年 愛知県名古屋生まれ
1999年 愛知教育大学大学院芸術教育専攻修了
2002年 Chelsea College of Art and Design, MA in Fine Art
主にワークショップをもとにした映像作品を制作している。本展では、事前に子ども達がオリジナルの占いを作り、大人を占うワークショップ「あなたの未来をおしえます」を行った。その発表の様子を収めた映像作品と占いのセットなどを展示する。

y1 《Facing the Unknown》2012年
y2 《どうぶつたちのいっしゅうかん》(あいちトリエンナーレ2010) 2010年
y3 《きみの未来をおしえます》(サンフランシスコ) 2012年

宮田篤 (みやた・あつし)

1984年 愛知県一宮市生まれ
2009年 愛知県立芸術大学大学院美術研究科美術専攻(油画・版画領域)修了

だじゃれなど言葉遊びをヒントにした作品を制作している。《微分帖》は美しい語句を用いる「美文調」から名付けられた不思議な共同作文で、2008年から始め、今では1000冊を超える。《ちくちく地区》は、笹萌恵と行う言葉の旗をつくる裁縫あそび。本展ではともに事前のワークショップをもとにした新作などを展示する。

m1 《ことばの壁》(1floor 2011「道の草 公園の壁」神戸アートビレッジセンター) 2011年
m2 《ちくちく地区》(1floor 2011「道の草 公園の壁」神戸アートビレッジセンター) 2011年
*笹萌恵との共作 画像提供＝神戸アートビレッジセンター 撮影＝表恒匡
m3 《微分帖／ビブマンガ／びぶんえほん》
(あいちトリエンナーレ2013 キッズトリエンナーレ) 2013年

中島佑太 (なかじま・ゆうた)

1985年 群馬県前橋市生まれ
2008年 東京芸術大学美術学部先端芸術表現科卒業
ワークショップを手法にアート活動を展開。近年は小学校や幼稚園でワークショップを多く行い、子ども達との対話を通じた作品制作に取り組んでいる。本展では、事前に小学生とヘンテコな「ルール」をつくるワークショップを行い、それをもとにした参加型の作品《今日のルール》を発表する。

n1 《Today's Scenery-Red Sapphire-》(Matadero Madrid/スペイン) 2013年
n2 《分断する》(子ども読書推進センター/千葉県松戸市) 2014年 撮影＝加藤甫
n3 《お母さんの頭の上に積み木を5つ積んでみよう》
(GTS観光アートプロジェクト/東京都台東区) 2012年



y1



y2



y3



m1



m2



m3



n1



n2



n3